

ずいそう

## 仕事始め

諏訪 昇



仕事始めの夕方、カミサンからのメールで熱が38.5℃あるので動けない。夕食は作れないとのこと。食欲がないので、ウイダーinゼリーを買って帰る様にとの指示。

昨日とれた歯の詰め物を再び入れてもらいに、運よく当日予約が取れた歯医者で診てもらおう。申し訳ないが優先させてもらおう。

最寄駅のI系スーパーでウイダーinゼリー数個と各種プリン、バナナ、自分用の弁当を買って帰る。レジ袋1枚2円でした。Mスーパーでは取られないのに。

レジが従来型なのに気付く。Sスーパーは半分以上がセルフだし、Mスーパーは商品のバーコード・スキャンだけ係りがやり、支払い専用器とするシステムである。お釣りが自動ででてくるようになってから、わずかの間で進歩した。スキャン作業が自動化されればレジ係りの人がなくなるのも時間の問題と思った。

家に着くと、カミサンがマスクをしたままエアコン、加湿器をガンガンきかせた寝室で横になっていた。ベッドカバーは外に干すのにくじけて、全自動洗濯機の中にあるので持ってきてセットしてほしいとのこと。行ってみると、しわくちゃのベッドカバーがあった。取り出すと、全自動洗濯機のドア付近に糸屑がびっしりこびりついていて、このままでは次の洗濯に使えないと思い、ウエットティッシュで粗方拭き取る。横になったままのカミサンの上からベッドカバーをセットして、買って来たウイダーinゼリーを与える。ベッドカバーは犬と猫がベッドに上がるので必需品である。

それから、犬の散歩がまだなので、スーツを着たまま散歩に出かける。帰ってきて、犬と猫に食事を与えて、自分も買って来た弁当を電子レンジで温めて食べるのだが、電子レンジの使い方をカミサンに聞かなければならなかった。これが何度聞いても忘れる。前のレンジはコンビニ弁当モードがあった。

夕食をすまして皿洗いをして、取り込んだままの洗濯ものを畳んで、風呂に入る。

風呂から出て、いつもは朝する洗濯をカミサンの着

替えと一緒にその晩にしてしまう。共働き当時のパターンを思い出す。

ビールを飲みながらテレビを見て、洗濯が終了するのを待つ。NHK BSの「M資金」なる融資詐欺事件の内容であったと思う。半分以上寝ていて、気がつくと京都特集の番組に変わっていて、急いで歯を磨き、洗濯物を家の中に干して寝る。午前1時を回っていたと思う。カミサンは相変わらずつらそうに咳をして寝ていた。咳は一晩中続いた。背中越しに聞いているだけで何も出来ずに一晩を過ごした。

翌朝、熱を測ってもらおうと、38.5℃のまま高熱が続いていたので、会社を休み、病院に連れていくことにした。いい機会なので、カミサンにせいぜい尽くそうと思う。

朝の犬の散歩をしていると、前を歩く中学生達がインフルエンザの話をしていたので、たぶんカミサンもじゃないかと思った。自分の母校の生徒と思うが、在学中の詰襟とセーラー服の制服がブレザーに変わっていた。高校も男子校から共学になり、詰襟がブレザーに変わったことを思い出す。

家に帰り、犬と猫に食事を与え、カミサンに何か食べるか聞いたが、食欲がないとのこと。スポーツドリンクがまだ余っているので何もいらぬと言われる。

自分の朝食にとりかかるとする。いつもは食パンにジャムとマーガリンを付けるだけだが、時間があるので、トーストする。

食事の後片づけをして、室内干しの洗濯物を外に出して、カミサンの様子が少し落ち着くのを待って、病院に連れていく。病院の駐車場で待っていると、インフルエンザに罹っているとのメールが入る。一緒になって初めてと思う。自分は、50代前半にタミフルで半日で熱が下がったが、50代後半になるとタミフルでも熱が下がるのに2日かかる様になり、それ以来、予防接種を受けている。カミサンは今まで受けていなかったもので、今後、一緒に受けたほうが良いと思った。

—すわ のぼる (株)加藤製作所 開発管理部 課長—